

# 『人民の歴史学』総目録

第151号(2002年3月)一

## 第151号(2002年3月)

### <東京歴史科学研究会6月講座>

山田 朗 教科書問題から歴史認識・歴史教育を考えるー〈歴史修正主義〉をいかに克服するかー

### <書評>

阿部安成 小林丈広著『近代日本と公衆衛生ー都市社会史の試みー』

### <東京歴史科学研究会第36回大会報告レジュメ>

#### 【個別報告】

野崎義幸 地域メディアにみる「青年」の変遷(仮)

島本浩樹 1950年代の長野県下伊那郡における労働争議

荒垣恒明 戦国期における鉄炮の機能について(仮)

#### 【委員会企画】

委員会 生活規範とイデオロギーー1930年代日本を中心にー

見城悌治 1930年代日本における「模範的人物」表象

野本京子 家族小農経営と「農本主義」イデオロギーー1930年代を中心にー(仮)

### <東京歴史科学研究会『人民の歴史学』目録100~150号>

### <ラウンジ>

川合 康 『東京都大学改革大綱』をめぐって

## 第152号(2002年6月)

### <特集：戦後歴史学再考ー前近代史の視点からー>

### <東京歴史科学研究会歴史科学講座>

池 亨 戦後歴史学を見直すー東アジア地域論を踏まえてー

### <研究ノート>

保立道久 稲垣泰彦氏の土地所有論と戦後中世史学

<書評>

渡辺尚志 吉田ゆり子著『兵農分離と地域社会』

<文献紹介>

糟谷幸裕・吉沢佳世子 歴史科学協議会編『歴史が動く時—人間とその時代』

<東京歴史科学研究会活動の記録>

荒垣恒明 歴史科学講座参加記

大高俊一郎 『戦争する国』づくりに反対し憲法が生きる日本に 『建国記念の日』反対集会 2002年  
2・11集会」参加記

<東京歴史科学研究会第36回大会総会報告>

## 第153号(2002年9月)

### <特集：生活規範とイデオロギ—1930年代日本を中心に—>

<東京歴史科学研究会第36回大会委員会企画>

見城悌治 1930年代日本における「模範的人物」表象—大原幽学・二宮尊徳を事例として—

野本京子 1930年代における「農本主義」イデオロギ—の「受容」形態—修練農場を中心に—  
討論要旨

<書評>

サーラ・スヴェン 人種主義、排外主義、差別と「国民国家」

—書評：三宅明正・山田賢編著『歴史の中の差別—「三国人問題」とは何か—』—

<文献紹介>

森脇孝広 渡辺治編著『憲法「改正」の争点—資料で読む改憲論の歴史—』

<東京歴史科学研究会活動の記録>

酒井 晃 六月講座「歴史教育のなかの教科書」参加記

## 第154号(2003年1月)

<東京歴史科学研究会第36回大会個別報告>

荒垣恒明 戦国期における鉄炮の機能について—加勢・合力との関わりを中心に—

野崎義幸 「英雄」をめぐるメディアと若者たち—一九一〇年代～二〇年代の神奈川県を中心として—  
—

島本浩樹 一九五〇年代の労働争議と地域一組合製糸天竜社争議を事例に一

<書評>

山田敬男 石堂清倫著『二〇世紀の意味』

<東京歴史科学研究会活動の記録>

委員会だより

## 第155号(2003年3月)

<<特集：歴史教育のなかの教科書>>

<東京歴史科学研究会6月講座>

加藤公明 「考える日本史授業」と教科書

鈴木哲雄 高校日本史教科書の新たな試み

<文献紹介>

大岡 聡 源川真希著

『近現代日本の地域政治構造—大正デモクラシー体制の崩壊と普選体制の確立—』

吉田智美 藤野敦著『東京都の誕生』

西浦直子 西村絢子・藤村久美子・牧原憲夫編著『わたしとわたしたち—人権と民権を考える—』

<東京歴史科学研究会第37回大会報告レジュメ>

【個別報告】

佐藤宏之 近世大名の無嗣逝去に関する一考察—享保十一年津山松平家の五万石減知の場合—(仮)

金井隆典 義民の「発見」—日本近代成立期における「主体」形成に関する一考察—

サーラ・スヴェン 大正デモクラシー期における政軍関係

【委員会企画】

委員会 中・近世移行期地域社会像の再検討

湯浅治久 中世後期の領主と地域社会

志村 洋 近世前期の大庄屋と地域社会

<東京歴史科学研究会活動の記録>

佐貫正和 11月例会参加記 靖国神社の古さと新しさ

佐々木 啓 歴史科学講座参加記

サーラ・スヴェン 2・11集会プレ企画 靖国神社・遊就館見学参加・感想記

酒井 晃 2・11集会参加記

## 第156号(2003年6月)

### <歴史科学講座—地域社会のなかの軍隊・社会—>

山本和重 軍隊と民衆—一九三〇年代の軍事救護政策から—

### <書評>

瀧 厚 決着ついた昭和天皇の戦争責任問題—山田朗著『昭和天皇の軍事思想と戦略』を読んで—

森 茂樹 河野仁著『<玉砕>の軍隊、<生還>の軍隊—日米兵士が見た太平洋戦争—』

佐治暁人 古関彰一著『「平和国家」日本の再検討』

### <東京歴史科学研究会第37回総会報告>

## 第157号(2003年9月)

### <特集：中・近世移行期地域社会像の再検討>

### <東京歴史科学研究会第37回大会委員会企画>

湯浅治久 中世後期の領主と地域社会

志村 洋 近世前期の大庄屋制と地域社会

討論要旨

### <書評>

神 かほり 小倉英敬著『八王子デモクラシーの精神史—橋本義夫の半生—』

牛木純江 米田佐代子著『平塚らいてう—近代日本のデモクラシーとジェンダー—』

### <研究時評>

市川寛明 博物館の現状と歴史認識の課題

### <東京歴史科学研究会活動の記録>

酒井 晃 7月例会参加記 <我々>とハンセン病問題

## 第158号(2003年12月)

### <東京歴史科学研究会第37回大会個別報告>

佐藤宏之 近世大名の無嗣逝去と藩の対応—享保—一年津山松平家の五万石減知を事例に—

金井隆典 日本近代成立期における義民の「発見」と「主体」の形成

サーラ・スヴェン 大正初期における日本の政軍関係

### <書評>

野崎義幸 原田敬一著『国民軍の神話 兵士になるということ』

＜東京歴史科学研究会活動の記録＞

丸本健次 関東大震災八十周年記念集会参加記

## 第159号(2004年3月)

＜東京歴史科学研究会6月講座＞

河合美喜夫 教育基本法改悪を先取りする「石原教育行政」

＜書評＞

赤坂俊一 永原慶二著『20世紀日本の歴史学』を読む

野村 玄 高木昭作著『將軍権力と天皇—秀吉・家康の神国観—』

中嶋久人 大石嘉一郎・金澤史男編著『近代日本都市史研究—地方都市からの再構成—』

＜文献紹介＞

川本愉彦 大石学編著『地名で読む江戸の町』『駅名で読む江戸・東京』

＜東京歴史科学研究会第38回大会報告レジュメ＞

【委員会企画】

委員会 戦争とメディア—十五年戦争期の日本を中心に—

安田常雄 戦争とメディア・序論

加納実紀代 戦争プロパガンダと女性表象—『写真週報』を中心に—

【個別報告】

高松百香 興福寺再建と中世撰関家(仮)

小酒井大悟 近世前期の土豪と「同族団」(仮)

吉沢佳世子 山崎延吉の朝鮮拓殖事業—その展開過程と経営実態について—

＜東京歴史科学研究会活動の記録＞

鈴木織恵 女性と「仕事」の未来—十一月例会参加記—

磯部津輝子 講演「アジアからのまなざし・アジアへのまなざし」を聞いて

委員会だより

## 第160号(2004年6月)

《特集：日本とアジアの20世紀—戦争・暴力・差別—》

＜東京歴史科学研究会歴史科学講座＞

倉沢愛子 日本の東南アジア占領—インドネシアの視点から—

栄沢幸二 近代日本のナショナリズムと華夷の思想

<書評>

外村 大 山田昭次著『関東大震災時の朝鮮人虐殺』—植民地支配の責任をめぐる対話を進めるために—

山本唯人 『関東大震災と戒厳令』を読む

<東京歴史科学研究会活動の記録>

山田幸司 2・11集会参加記

<東京歴史科学研究会第38回総会報告>

## 第161号(2004年10月)

《特集：戦争とメディア—15年戦争期の日本—》

<東京歴史科学研究会第38回大会委員会企画>

安田常雄 戦争とメディア・序論—思想史的視角から—

加納実紀代 戦争プロパガンダとジェンダー表象—『写真週報』を中心に  
討論要旨

<書評>

堀 新 池亨著『戦国・織豊期の武家と天皇』

小川和也 宮地正人著『歴史のなかの新撰組』

<文献紹介>

小川輝光 『近現代日本社会の歴史・近代社会を生きる』『同・戦後経験を生きる』

## 第162号(2004年12月)

<東京歴史科学研究会第38回大会個別報告>

高松百香 九条兼実の興福寺再建—中世撰関家と<鎌足>—

小酒井大悟 近世前期の村政と土豪・同族団—越後国頸城郡大野村を事例として—

吉沢佳世子 一九二〇年代山崎延吉の朝鮮進出

<文献紹介>

佐藤美弥 十菱駿武・菊池実編著『しらべる戦争遺跡の事典』『続しらべる戦争遺跡の事典』

<東京歴史科学研究会活動の記録>

委員会だより

## 第163号(2005年3月)

### <東京歴史科学研究会7月講座>

東京歴史科学研究会委員会ワーキンググループ

歴史系博物館の現状と課題—JICA 海外移住資料館の展示検討—

### <研究ノート>

廣畑研二 社会運動史研究と警察資料

### <文献紹介>

中村一成 大日方純夫・山田 朗編著『近代日本の戦争をどう見るか』

池浦泰憲 井原今朝男著『中世寺院と民衆』

ベ ヨンミ 関東大震災 80 周年記念行事実行委員会編著『世界史としての関東大震災—アジア・国家・民衆』

### <東京歴史科学研究会第38回大会報告レジュメ>

#### 【委員会企画】

委員会 天皇制研究の現在—歴史学は天皇制にどう向きあうか—

義江明子 古代女帝論の転換(仮)

山田 朗 近現代天皇制研究の方法試論

#### 【個別報告】

皆川雅樹 九～十世紀の「唐物」と東アジア

川戸貴史 撰銭現象の再検討(仮)

森脇孝広 戦後漁業制度改革と漁場秩序の再編成—一九五〇年代千葉県奈良輪の事例を通して—(仮)

## 第164号(2005年6月)

### <東京歴史科学研究会歴史科学講座>

渡辺尚志 今、佐々木潤之介氏の幕末維新論とどう向き合うか

落合延孝 渡辺報告へのコメント

### <書評>

二宮 元 浅井基文著『戦争する国しない国—戦後保守政治と平和憲法の危機—』

### <文献紹介>

源川真希 小林英夫著『帝国日本と総力戦体制—戦前・戦後の連続とアジア—』

白石 烈 大石学編著『新選組情報館』・同著『新選組—「最後の武士」の実像—』

野木香里 李元淳・鄭在貞・徐毅植著『若者に伝えたい韓国の歴史—共同の歴史認識に向けて—』

<東京歴史科学研究会活動の記録>

加藤圭木 「対話」のスタートとして—二・一一集会参加記—

<東京歴史科学研究会第39回総会報告>

## 第165号(2005年9月)

《特集：天皇制研究の現在——歴史学は天皇制にど向きあうか——》

<東京歴史科学研究会第38回大会委員会企画>

義江明子 古代女帝論の転換とその背景

山田朗 近現代天皇制・天皇研究の方法試論—<大元帥>と<立憲君主>の二項対立克服のために—

討論要旨

<研究ノート>

佐々木 啓 徴用制度像の再検討—その再編・統合策に注目して—

<書評>

上杉和彦 川合康『鎌倉幕府成立史の研究』を読む

<文献紹介>

鈴木織恵 義江明子『古代女性史への招待』

<東京歴史科学研究会活動の記録>

尾畑明理 1月例会に参加して



## 第166号(2005年12月)

### <東京歴史科学研究会第39回大会個別報告>

- 皆川雅樹 九～十世紀の「唐物」と東アジア——香料を中心として——  
川戸貴史 撰銭現象の再検討——収取の現場を中心に——  
森脇孝広 漁業制度改革と漁場秩序の形成——一九五〇年代千葉県奈良輪の事例をもとに——

### <書評>

- 竹内光浩 若尾政希著『安藤昌益からみえる日本近世』  
宮瀧交二 服藤早苗著『平安王朝の子どもたち—王権と家・童—』

### <東京歴史科学研究会活動の記録>

委員会便り

## 第167号 2006年3月

### <東京歴史科学研究会6月講座>

松尾章一 私の歴史学研究と服部之総 ——明治維新と自由民権運動を中心に——

### <研究ノート>

山本和重 近代日本軍事救護史の研究手法 ——郡司淳『軍事救護の世界—軍隊と地域社会』並びに  
一ノ瀬俊也『近代日本の徴兵制と社会』をめぐって——

### <書評>

西野悠紀子 大沢正昭著『唐宋時代の家族・婚姻・女性——婦は強く』

### <文献紹介>

井本三夫 井本三夫監修・歴史教育者協議会編『図説 米騒動と民主主義の発展』にまとめた事  
酒井 晃 鵜飼政志・蔵持重裕・杉本史子・宮瀧交二・若尾政希編『歴史をよむ』

### <東京歴史科学研究会活動の記録>

廣木 尚 松尾章一講演会「私の歴史学研究と服部之総  
——明治維新と自由民権運動を中心に——」を聴いて  
安井 崇 東京歴史科学研究会7月例会参加記

<東京歴史科学研究会第40回大会報告レジュメ>

【委員会企画】

委員会 東アジアの国家と対外関係――近世から近代への転換を中心に――

糟谷憲一 朝鮮の対清関係の諸相(仮題)

横山伊徳 幕末対外関係史の前提について

【個別報告】

服部一隆 「班田収授法」の再検討

大和孝明 維新时期東京における「救済」と「差別」の位相 ――養育院と東京府病院を中心に――

福田真美子 十五年戦争期における高等学校生の戦時意識(仮)